

令和4年11月2日

**福島漢字探検隊 2022 in 福島市
福島大学・立命館大学「漢字で元気に」プロジェクト第12弾
福島駅東口『こむこむ：にぎわい広場』で開催！**

東日本大震災後の2011年秋より、福島大学と、福島県と連携協力協定を締結している立命館大学とで「漢字で元気に」プロジェクトを行ってきました。

その第12弾〔通算16回目〕として、11月5日（土）、福島県民・小中学生対象の体験型漢字学習講座「福島漢字探検隊－漢字クイズラリー2022」を福島市子どもの夢を育む施設『こむこむ』にぎわい広場にて開催します。

福島大学は、立命館大学、白川静記念東洋文字文化研究所と協力し、震災の年2011年より福島大学生とともに「漢字で元気に」プロジェクトを福島県各地で実施しています。今年は継続的活動の12年目となり、県内の各新聞社・テレビ局・ラジオ局・教育委員会等の後援を受けつつ、11月5日（土）、福島駅東口、子どもの夢を育む施設『こむこむ』1階「にぎわい広場」で開催します。

「漢字で元気に」プロジェクトは、年齢・性別に関わらず共通の話題にできる漢字や日本語を、家族をはじめとするコミュニティの交流ツールや基礎学力の向上源となるように、そしてそこから生まれてくる『言葉の力・対話の力』を震災復興に向けられるように、さまざまな話題や知識を福島大学生・大学院生とともに主に小中学生や一般市民を対象に提供する活動を行うものです。

福島大学・人間発達文化学類教授で漢字・漢文学の講座を担当する澁澤 尚が、世界的な文字学者である故・白川 静博士（文化勲章受章者）に師事していた縁で福島県開催が実現しました。これまで福島市・郡山市・会津若松市・喜多方市・いわき市などで開催してきました。今年は福島市での開催となります。

今回の第12弾は、漢字をテーマにしたイベント「福島漢字探検隊－漢字クイズラリー2022」を11月5日（土）に開催し、小中学生を中心に市民・県民を無料招待いたします。澁澤による「古代の文字で名前を書いてもらおう！」のコーナーも併設します。

※別紙チラシ参照

開催要項

福島漢字探検隊—漢字クイズラリー2022

*この催しは「子どもゆめ基金」(独立行政法人国立青少年教育振興機構)の助成による

- 日 時 11月5日(土) 13:00~16:30 ※12:45 受付開始
○会 場 福島市子どもの夢を育む施設『こむこむ』1階「にぎわい広場」
【無料・コロナウイルス感染症対策のため一部事前申込必要】

○内 容

- ・漢字クイズラリー・漢字あそびコーナー
- ・「白川静の生涯と古代文字史料」展示
- ・古代文字で名前を書いてもらおう!
- ・漢字ビンゴ大会 他



- 対 象 小中学生、親子、年配者までどなたでもご参加いただけます
○参 加 無 料 ※一部事前申込必要
○主 催 学校法人立命館大学 白川静記念東洋文字文化研究所
○協 力 国立大学法人・福島大学
○後 援 福島民報社、福島民友新聞社、NHK福島放送局、
福島放送、福島テレビ、福島中央テレビ、テレビユー福島、
ラジオ福島、ふくしまFM、福島県教育委員会、福島市教育委員会
○協 賛 (公財)日本漢字能力検定協会 平凡社 太郎次郎社
○参加申込先 ※参加の申込みは、以下のWebからお願いします。チラシ参照
<https://ws.formzu.net/fgen/S56098948/>

○問い合わせ先

立命館大学 衣笠キャンパス地域連携課(白川研文化事業事務局)
電話:075-466-3776(平日 9:00~17:00)
E-mail:toyomoji@st.ritsumeit.ac.jp

福島大学 人間発達文化学類 澁澤尚(しぶさわ ひさし)研究室
E-mail: shibusawa@educ.fukushima-u.ac.jp

※白川静博士について

白川静博士(しらかわ しずか 1910-2006)は、世界的な東洋学者で、漢字研究

の第一人者。古代人の生活や信仰にまで踏み込んで文字を分析。漢字の成り立ちについて、最古の字書『説文解字』以来の二千年にわたる解釈を覆す理論を打ち立てました。

白川博士は、最古の文字資料である殷・周の甲骨文や金文に対して体系的な研究を行い、古代文化について独創的な研究を築き上げました。その学説は世に「白川学」と称され、内外の学界から高い評価を得ています。NHKで特集番組が組まれ、また俳優・武田鉄矢がその字説をテレビ番組で紹介するなどして、一般にも広く知られるようになりました。



その独自の学説は、60余年におよぶ漢字研究の成果として辞書3部作（『字統』『字訓』『字通』）に結実し、漢字文化の豊かな世界を広く世人に理解せしめ、今後の文字表現のあるべき道を示唆、朝日賞、毎日出版文化賞、菊池寛賞、井上靖賞など多数受賞しました。

漢字文化圏全体に亘る壮大な研究により 1998 年、文化功労者として顕彰され、2004 年、文化勲章が授与されました。

開催の様子



古代文字で名前を書いてもらおう！



（お問い合わせ先）

人間発達文化学類・教授 澁澤 尚
（しぶさわひさし）

電話：024-548-8131

メール：shibusawa@educ.fukushima-u.ac.jp



体験型漢字講座

漢字探検隊 in 福島 (福島県開催第16回・全国通算第234回)

「漢字探検隊」は、立命館大学の登録商標です。

漢字クイズラリー



会場内にある漢字クイズをといて
漢字グッズをもらおう！
来場者の名前を古代文字短冊でプレゼント！

ちらしのうらも
みてね！
楽しい企画が
いっぱい！

2022

11

5 土

13時～16時30分

参加料
対 象
場 所

無 料

どなたでもご来場いただけます。

福島市子どもの夢を育む施設

こむこむ1階「にぎわい広場」



漢字クイズラリーは
時間帯入れ替え制です。
各回50人(先着順)
※事前申込みが必要です。

漢字クイズラリー

漢字についてのクイズに挑戦しよう。

① 13時～ ② 14時～ ③ 15時～

- ◆ 定員を超えたときはキャンセル待ちとなります。
- ◆ 当日参加は、各時間帯で定員に達していない時は可能です。
- ◆ 問題は6問用意。3つのレベル(小学1～3年生向け・小学4～6年生向け・中学生～大人向け)があり、当日選べます。
- ◆ 正解した数により、くじ引きで漢字グッズをプレゼントします。

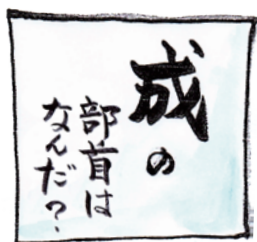
ハズレ
なし！

画数ビンゴ大会

16時～

※ この催しは事前申込みの必要はありません。

- ◆ 漢字グッズなどが当たるビンゴ大会、漢字の画数が幸運の数字。



お問合せ・お申込先

学校法人立 命 館 立命館大学
衣笠キャンパス 地域連携課
(白川研 文化事業 事務局)

▶ お申込み WEB からお願いします。

WEB <https://ws.formzu.net/dist/S56098948/>

▶ お問合せ

Eメール toyomoji@st.ritsumeai.ac.jp

お申し込み
QRコード



主催 学校法人立命館 立命館大学 白川静記念 東洋文字文化研究所

協力 福島市子どもの夢を育む施設こむこむ館(公益財団法人福島市振興公社)、
国立大学法人福島大学、立命館アカデミックセンター

後援 福島県教育委員会、福島市教育委員会、福島民報社、
福島民友新聞社、NHK福島放送局、福島放送、福島テレビ、
福島中央テレビ、テレビユー福島、ラジオ福島、ふくしまFM
協賛 (公財)日本漢字能力検定協会、(株)平凡社、
(株)太郎次郎社エディタス

■この催しは、子どもゆめ基金(独立行政法人国立青少年教育振興機構)の助成によるものです。



ほかにも
イベントいろいろ

古代文字で名前を書いてもらおう

名前を古代文字で書いてもらおう。

講師 湊澤 尚先生（福島大学）

※途中休憩があります。



漢字のご先祖様に会おう

亀のこうらや牛の骨に彫られた甲骨文、木や竹の札に描かれた隸書など、昔の漢字を見てみよう。（展示品はレプリカです）



漢字あそび

漢字のパズルやゲームで楽しく遊ぼう。（各ブース5人程度）



金子都美絵「漢字の風景」展

美しい絵で漢字の成り立ちの世界をえがく金子都美絵さんの作品展。

※画像はイメージ



白川静の世界 ミニ展示

白川先生の一生を写真と著作でたどります。

白川 静ってどんな人？

漢字の成り立ちを調べると、大昔の人の暮らし方や考え方が分かります。これまでは、2000年前の字書に書かれていた成り立ちを、後の人もずっとそうだと考えていました。

しかし、「そうではない」と自分の考えを表したのが白川静先生です。

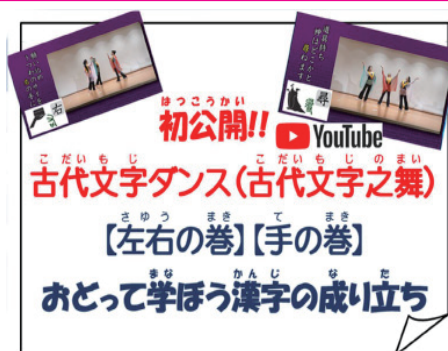
およそ60年前のことです。白川先生は、大昔の人が亀の甲羅や獣の骨に刻んだ字を研究して、漢字の成り立ちについての新しい考えを発表しました。



大人の方へ

白川静博士（1910-2006）は、東洋研究の第一人者。中国古代人の生活や信仰にまで踏み込んで古代文字を分析。漢字の成り立ちについて、2000年来の解釈を覆す理論を打ち立てました。立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所は、白川博士の研究成果を元に、東洋文字文化について広く社会一般を対象とした教育と普及を行い、また学術研究の分野において東洋文字文化研究の進捗と高度化を図ることを目的に活動を行っています。

＊この活動では、団体広報や子どもゆめ基金への報告のために写真撮影を行います。
撮影した写真や映像等は、広報用にHPやSNS、刊行物等に掲載することがあります。
なお、子どもゆめ基金へ報告用に提出した個人情報（写真）は、「（独）国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規程」に基づき、子どもゆめ基金助成業務以外の目的には使用されません。



「古代文字ダンス（古代文字之舞）」
は、漢字の成り立ちやつながりについて、ダンスを通して「体感」していたことを目的として作りました。

古代文字ダンス

検索